

2022

12/9-12/18  
13:00-18:00



▲osaka expo

「非建築」的な建築とはどのようなものか。  
ヒエラルキーから開放された、枠組みと枠組みの間にある関係性そのもののような、より自由で寛容なにか。  
建築然としない建築、「非建築」をめざして、試行錯誤を繰り返している。  
本展示は、「非建築」のあり方を検討するための巨大なスタディ模型である。  
axonometricとして取り組んできた/取り組んでいるプロジェクトをできるだけ網羅的に並列することで、試行・思考を俯瞰する。

佐々木 慧



▲not a hotel

出展者+石田壽一/五十嵐太郎による  
トークイベント

12/14 17:00-19:00

主催 東北大学大学院 工学研究科  
都市・建築学専攻都市・建築理論研究室

大阪のU35に参加した若手の建築家、  
二組による展覧会を企画しました。  
建築をめぐる新しい関係性について問いかけます。  
また両者ともに展示のための仕器のデザインを工夫し、  
空間を構成する重要な要素とみなしていることにも  
注目してください。(五十嵐太郎)

studio niko



Nacasa & Partners Inc.  
▲Francfranc Forest

studio nikoは、建築を軸に、  
アートと不動産の分野を横断しながら、  
変化する社会の中で私たちを取り巻く環境を  
どのように変えて行くことができるかを  
考えながら活動しています。  
本展では7年の実践と、現在進行している  
プロジェクトにスポットを当て、そこで培った  
アイデアやプロセスを紹介します。  
建築の枠を拡げて、遊休不動産の利活用、  
地域再生、展示空間やプロダクトのデザイン  
など、意識的に分野を横断しながら取り組む  
事例を選びました。  
プリント用紙や100均の文房具を用いて、  
サイトスペシフィックな展示空間を設えました。  
打ち合わせなどで使った紙を捨てる前に  
役割を与えた展示仕器は、私たちの考えかたの  
一端をよく現しています。



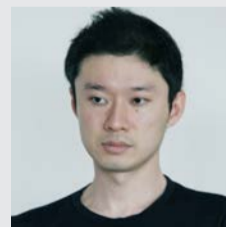
Yurika Kono  
▲仙台市市庁



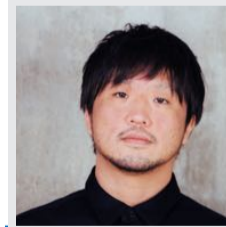
〒980-0845  
仙台市青葉区荒巻青葉6-6-6  
地下鉄東西線青葉山キャンパス駅  
南1出口より徒歩7分



笹本直裕  
1981年生まれ。  
千葉大学を卒業した後、2007年に東北大学大学院修了。  
blue studioを経て、2015年にstudio nikoを設立。  
カマタ\_ブリッジのディレクターを務めながら、  
蒲田と世田谷に拠点を構える。  
仙台では、宮城大学などと産官学共同プロジェクトに携わる。  
仙台市リノベーションまちづくり検討委員(2015年度)を務めた。



佐藤研也  
1981年生まれ。  
東京理科大学を卒業後、2007年に同大学院修了。  
moriko kira architectなど、オランダの設計事務所を経て、  
2015年にstudio nikoを設立。  
建築を軸に領域横断的な活動を行い、  
現代アートの制作やキュレーションにも関わる。  
2015年、Under 35 Architecture Exhibition出展。  
2017-2019年、東京藝術大学COI拠点特任助手及び特任研究員。



佐々木 慧  
1987年生まれ。  
九州大学を卒業後、2013年に東京芸術大学院修了。  
藤本社建築設計事務所を経て、  
2021年にaxonometric Inc.を設立。  
複合施設、ホテル、レストラン、住宅、プレファブ建築開発、  
家具商品開発など、多岐にわたるプロジェクトを手がける。  
2022年、Under 35 Architecture Exhibition出展。  
九州大学や九州産業大学などの非常勤講師を歴任。

@トンチクギャラリー(東北大学)

「トランス・コネクションー建築と(して)のあいだ」展